

## 幼稚園・保育園関係の皆様へ

### 講演会のご案内

平成26年10月  
NPO法人幼児算数教育研究所  
理事長 植村憲治

一年の内、最も過ごしやすい季節になり、園は幼児の元気な姿や声に包まれていることと存じます。

皆様、既にご承知のことと存じますが、学制改革を議論している教育再生実行会議は、今年7月に「今後の学制等の在り方について（第五次提言）」という提言を総理大臣に提出しました。その中で、「**幼児教育の無償化と5歳児の義務教育化**」を提言しています。今後、これらの実現を目指した教育が幼児に対して行われていきます。また、幼稚園・保育所では、**小学校での学習につながる新たな幼保小連携**が求められます。

このような新たな動きの中で、幼児教育を担う先生方は何をすればよいのか戸惑われているのではないのでしょうか。環境分野で扱ってきた数概念などの指導が、小学校の算数教育にどのように繋がっていくのでしょうか。数概念の指導法についても悩んでおられるのではないのでしょうか。集中力を持続させるにはどうするのか、知らない言葉や概念をどうやって理解させるか、数はいくつまで教えれば良いか、戸惑うことはいくつもあることでしょう。

本NPOは、保育所で毎月3,4,5歳児対象の実験を行っています。そして、その結果に基づく研究や学会で報告された結果などの成果を多くの皆様にとって頂く活動もしており、この講演会もその活動の一つです。今回は会の活動を多くの皆様にとって頂くために、参加費は無料にいたしました。

講演では幼児指導における重要点をいくつかご説明し、実験例をご紹介します。

取り上げる重要点は、**意外に持続する幼児の集中力、日本語習得段階にあることと幼児の好奇心を利用した幼児に対する新概念の説明方法**、などです。実験で判明したこれらの点について詳しくご説明し、それらを利用した指導法を紹介します。

また、実践例では、数詞として**5まで理解していれば指導できる算数概念**を説明し、実験内容と、結果から得られた指導法を紹介します。

幼児算数教育は、研究が始まったばかりの分野です。幼稚園・保育園の先生方のご意見を取りいれながら更に発展させて参ります。大勢の関係者のご参加を願っています。